

ふむふむ

2023年4月
茨城学習センターだより 第82号

もくじ

巻頭言	1
退任・新任の先生からのご挨拶	2
学位記授与式・名誉学生	3
入学者の集い・茨城学友同窓会	4
事務室からのお知らせ	5～6
ライブラリー講演会	7
ゼミのお知らせ	8～9
サークル紹介	10～11
スケジュール	12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

言うは易く行うは難し

放送大学茨城学習センター所長 小野寺 淳



入学者の皆様、放送大学茨城学習センターでは皆様を心からお迎えします。在校生・新入生の皆様、面接授業・ゼミはもちろんですが、本年度のライブラリー講演会(年10回)もご期待下さい。

さて、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、経済活動や文化・スポーツ活動などに様々な影響を与えました。新型コロナウイルスの収束が見えないなか、日本ではウィズコロナという新しい生活様式へと歩み始めたようです。放送大学でも昨年度から再開された学位記授与式が3月25日にNHKホールで開催され、多くの卒業生が旅立ちました。

3年以上に及ぶコロナ禍で、文部科学省・総務省所管の通信制大学である放送大学では、「心理学実験」の授業にライブWeb授業を導入し、ハイフレックス授業を増やしたり、在宅でも解答が可能なWeb単位認定試験の導入に踏み切るなど、様々な改革に取り組んで参りました。学位取得を目指す全科履修生のほか、認定心理士、社会教育士、社会教育主事、学芸員などの資格取得、特別支援学校教諭二種免許や学校図書館司書教諭などの教員免許、看護師国家試験の受験資格を目指すなど、選科履修や科目履修を目的に応じて柔軟に学ぶことができるのが放送大学の特色です。

とはいえ、社会で働きながら、孤独に打ち勝ちながら自ら学ぶ、心血を注いだ仕事に一区切りを付け、新たな学びに挑戦する方、様々です。しかし、共通することは「言うは易く行うは難し」でしょう。これを乗り越えるには、話し相手、相談相手を見つけることがコツです。彼氏・彼女、妻・夫、仕事場の同僚、そして放送大学では教員・スタッフはもちろん、ゼミ仲間、サークル仲間が加わります。本来ならば、大学らしいゼミ活動やサークル活動の紹介など、「茶話会」という先輩方や同期入学者と直接ふれあう機会があったのですが、新型コロナウイルス感染防止のため、今回も自粛せざるを得ませんでした。しかし、本誌やネットもご覧いただき、積極的にゼミやサークルに入ること、新たな友を得ていただきたいと思います。

最後に、これまで2018年から2022年度まで客員教授を務めていただきました堀口悟先生が退任されました。心よりお礼申し上げます。本年度より在宅看護学が専門の前田和子先生を客員教授としてお迎えすることができました。よろしくお願いたします。

— 退任のご挨拶 —

茨城学習センター客員教授

茨城キリスト教大学教授／専門分野：日本古典文化

堀口 悟



放送大学は、学生全員が勉強したくて入ってくる、本当にユニークな大学です。親のすすめでも、皆が行くからでもなく、偏差値で選ぶわけでもない。……この、大学本来の理想的な姿が自然に実現している放送大学は、全国の大学の中でも希有な存在といえるでしょう。その上、一度卒業しても、すぐまた別のコースに何度も入り直す学生が多数おいでになる。茨城学習センター長を退任なさった翌年に、学生として入学された教授までいらっしかったです。普通の大学なら、考えられないですよ。でも、放送大学には共に何度でも学び合いたいと思わせる魅力があります。

こんなすばらしい大学で15年間もお世話になれたことは、生涯の幸せでした。平成二十(2008)年から、客員教授として5年間、その後の5年間は「香り文化サークル顧問」として、平成三十(2018)年から今までは、再度客員教授として、サークル顧問も続けさせて頂きました。本当にありがとうございました。

退任の後は、(本務校も間もなく定年ですので)自宅の香道教室を中心に活動することになります。サークル顧問の方はもう少し続けさせて頂いていただけそうです。

— 新任のご挨拶 —

茨城学習センター客員教授

茨城キリスト教大学教授／専門分野：在宅看護学

前田 和子



本年度から客員教授としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

現在は、在宅看護学領域の教員として、特に学生の実習を通して、地域で療養している方とご家族がどのような体験をされているのか、また具体的な多職種連携について学修させていただいております。

近年の少子・超高齢社会により、日本は地域医療構想や地域包括ケアシステムの方向に向かっています。看護基礎教育でも、従来の病院中心型から在宅中心型へ移行し、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護がますます注目されています。在宅看護では、多様な健康レベルとライフステージにある看護の対象を「生活者」として捉え、家族を含めた暮らしをみるのが求められています。「健康な暮らし」の支援、予防とヘルスリテラシーの向上、セルフケアを引き出す支援、尊厳を守り意思を尊重した暮らしの支援、在宅での看取り支援などが大切になっています。こうした社会や看護師の役割の変化をふまえ、今求められている在宅看護について、皆さんと一緒に学ぶ機会を楽しみにしております。

どうぞよろしくお願いいたします。

ご卒業・ご修了おめでとうございます

3月25日(土)11時00分～12時00分、東京都渋谷区
NHKホールにおいて、2022(令和4)年度放送大学学位記授与式が挙行されました。茨城学習センターからは、第2学期学部50名、大学院4名の方々がご卒業・ご修了され、第1学期と併せ80名の方々が長い教育を終えられました。これまでのご努力と成果に敬意を表し、新たな歩みを進められますことを、心よりお祝い申し上げます。

また、放送大学同窓会連合会と共催の卒業・修了祝賀パーティーは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催は中止となりました。



卒業生メッセージ

このたび2度目の卒業を迎えました。前回は1999年の入学から22年かけて卒業でしたが、今回は最短2年での卒業です。この2度の卒業は放送大学の自分のペースで学べる学風で大学の自分のペースで学べる学風を両極端に体現した形でした。4月からは生活と福祉に再入学予定なので、今後もその時々々の生活スタイルに合わせた自分のペースで学びを続けていきたいと思っています。

教養学部 心理と教育コース
小口 芳明

2021年4月
3年次編入から、2年間の結果でした。この間、コロナ禍の対応がありました。「学習センターの長期閉鎖」、「単位認定試験のく自宅実施・回答郵送」(Web試験)等です。構えて臨んだWeb試験は、思いのほかスムーズに対応出来たと思います。2011年4月選科入学より始まった、茨城学習センターでの「学び」を、もう少しの間続けたいと思っています。

教養学部 社会と産業コース
江端 栄

放送大学は、夢を叶えてくれた場所です。5年前、残りの人生を悔いなく生きたいと考えたとき、かつての「大学に行きたい」という夢を思い出し、出会ったのが放送大学でした。素晴らしい先生方や、様々な世代やキャリアのある方々と出会い、知識だけでなく多くの事を得ることが出来ました。卒業できた事に感謝申し上げます。

教養学部 自然と環境コース
山岡 かおり

修士論文は義父が残した資料をもとに、1958年から1年3か月ほど南ベトナムへ社員を派遣した、ある工場が出来事について調査したことをまとめました。義父の残した資料を歴史的な出来事を伝えているように感じて修士論文のテーマにしました。義父のライフストーリーの執筆に7年、修士論文の執筆に3年、2つの研究を完成できたことをとてもうれしく思っています。

大学院 社会経営科学プログラム
菅谷 美枝子

修士選科生3年の後、2回の挑戦を経て合格し、修士全科生として2年間研究を積みましました。この春の修了まで、7年かかりました。茨城大学卒業時に、大学院進学に挑戦して果たせなかった日から、実に45年たっていました。ここに至るまでに指導していただいた先生方や、助言して頂いた学友の皆様感謝いたします。

大学院 生活健康科学プログラム
佐々木 洋

働きながら、臨床心理士を目指して学べる放送大学大学院はとてもありがたい存在でした。コロナ禍で、面接授業は全てオンラインとなりましたが、先生方や同期の先生方を画面越しに感じながら充実した学びの時間を得ることができました。今後臨床心理士の資格取得を目指して学びを続けたいと思っています。

大学院 臨床心理学プログラム
大久保 牧恵

名誉学生

放送大学では、教養学部全コース(又は専攻)を卒業した全科履修生の方で、人物、学習態度が良好で特に優秀な学業成績を修めたと認められる学生に対し、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りし、表彰状及び副賞の授与を行っております。

この度、茨城学習センターでは、菅原雅浩様が全6コースを終えられ、名誉学生の称号を付与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。

2006年に入学してから、かれこれ17年歳月が流れた。当時、勤め先で高圧ガスの免許保有者が必要になり、資格取得のための講習を受ける事になった。その過程で、学生時代に一体何の役に立つのかと疑問に思っていた数式によって必要な物理量が求められる事に興味を覚え、もう一度学習しなおそうと思ったのが、放送大学に入学したきっかけだった。そして一回目の卒業後、院に足を踏み入れたが知識不足を再認識する結果となった。ならば足りない知識を補うべく全てのコースを卒業しようと思いい、この度の全コース卒業に至る。今後は、前回断念した院へと再び足を進めたいと考えております。皆様の学習ライフが充実したものになりますように。



菅原 雅浩

卒業研究に 取り組んでみませんか？

卒業研究を履修するためには、履修する前年度(2024年度に履修するなら2023年度)に、卒業研究申請書の審査により履修が認められることが必要です。申請するためには、原則として申請年度の4月1日の段階で全科履修生として2年以上在学し、62単位以上修得していることが条件です。

2024年度履修予定者向けの Web卒業研究履修ガイダンスを開催します

2023年 **オンラインで実施**
6月11日(日) 13:30～15:00

参加希望の方は、
電話または事務室窓口でお申し込みください。
次年度以降の準備のための方もどうぞ!

ご入学おめでとうございます

4月2日(日)13時30分より、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。「入学者の集い」では、小野寺淳所長による式辞に続き、客員教授ならびに来賓祝辞、牧野桂子様から新入生代表挨拶がありました。また、集いの後に予定されていた学友同窓会による「祝賀茶話会」は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止の為中止となりました。



本日は、私たちのためにこのような素晴らしい入学者の集いを開催していただき、誠にありがとうございます。

この数年、新型コロナウイルス感染症のパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻、物価高、気候変動による甚大な自然災害など、私たちを取り巻く環境は激変しています。また、AIなど技術革新が進み生活は便利になる反面、メンタルヘルスなどの問題を頻繁に見聞きするようになり、私は“人の心”について深く理解したいと考えるようになりました。そのような折、放送大学が掲げる“いつでも、誰でも、自由な学びを”のフレーズが目にとまり、人生100年時代もう一度学生に戻りキャリアアップを目指したいと思いました。

このような決意を持って入学しましたが、久しぶりの学生となり不安も多々あります。時には孤独に取り組みなければならぬ勉学に心が折れそうな日もあるかもしれません。そのような時には、熱い志と夢を持つ数多くの仲間がここにいることを思い出し、また自分を支えてくれる周りの人たちへの感謝を忘れずに、学業と家庭の両立に励んで参りたいと思います。

最後になりますが、所長はじめ諸教職員の皆様、私たちを時には厳しく、そして温かくご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



以上をもちまして、入学生代表の挨拶とさせていただきます。

令和5年4月2日 代表 牧野 桂子

学生証について

学生証は、顔写真がシステム WAKABA に登録された後、茨城学習センターにおいて発行されますので、2階事務室窓口で交付を受けてください。受け取りの際は、

入学許可書(新入生)
有効期限の切れた学生証(在学生)



をお持ちください。

※感染症防止対策のため、できる限り郵送での交付をご利用ください。
下記を同封のうえ普通郵便で申請してください。

- 郵送による学生証交付願
*茨城学習センター Web ページからダウンロードできます
→<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki>
- 新入生：入学許可書の写しまたは顔写真のある身分証明書の写し
在学生：有効期限の切れた学生証または顔写真のある身分証明書の写し
- 返信用封筒(宛名記名、404 円分の切手貼付) *簡易書留で返送します

茨城学友同窓会

在学生・卒業生のみなさまには日常の諸活動や学業にご精励のことと推察しております。これまでの約3年間大きな影響を受け続けた新型コロナウイルス COVID-19への対応がようやく緩和される方向になってきました。必要な感染対策は、行いつつもコロナ前の生活に戻る時期が来たと考えます。本年は学友同窓会活動の計画や行動も徐々に以前のペースにしたいと思っております。

われわれ茨城学友同窓会の活動は、茨城学習センターと共催させていただき、在学生、卒業生が一体的に企画・実施する例えば教員・学生講演会、オープンキャンパス・学園祭、卒業研究論文・修士論文発表会、茨城 SC フォーラム刊行などの行事を始めとして、昨年まで中止をせざるを得なかった行事例えば入学者の集い後の歓迎茶話会、ふるさと探勝会との共催旅行、独自企画の研修旅行などの復活開催も検討したいと考えています。このような活動を力強く展開し続けることにより、放送大学茨城学習センターの発展とそこに集う方々の絆作りに寄与できるものと思っております。

みなさまの一層のご共感・ご参加をお待ちしております。



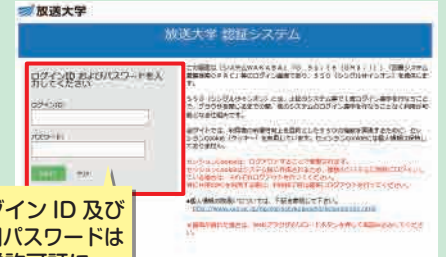
会長
矢野 正義

システム WAKABA の利用方法

まずは
ログイン

放送大学ホームページ>在學生(WAKABA)
>システム WAKABA (教務情報システム)
>[ログイン] をクリック

ログイン ID、パスワードを入力し
[ログイン] をクリック



ログイン ID 及び
初期パスワードは
入学許可証に
記載されています

「入学許可書」に書かれている
初期パスワードのままに
なっていませんか？
不正使用を防ぐため、必ず
パスワードを変更してください。

学内リンクにて外部システムや
ホームページへ遷移できます

システム WAKABA では、大きく分けて
3つの「タブ」で構成されており、利用
できる機能も大まかにこの「タブ」で区分
されています。「タブ」をクリックする
ことで利用できる機能が切り替わります。

- キャンパスライフ
 - 学籍情報、住所、履修情報、単位修得
情報等を確認できます
 - 住所変更や所属コース・学習センターの
変更、休学・復学の申請等が可能です。
- 授業サポート
- 教務情報

システム
WAKABA の
ページ

詳細な『操作マニュアル』については、
「キャンパスライフ」タブ→「附属施設・情報システム」をクリック
→「システム WAKABA 学生用マニュアル」にありますので、
困ったことがあった場合には、まずは『操作マニュアル』でご確認ください。

学生全員にメールアドレスが付与されています。本部と学習センターからの連絡を
随時送付していますので定期的に確認してください。

メールアドレス：学生番号(ハイフン除く)@campus.ouj.ac.jp

2023年度1学期 通信指導(レポート)の提出について

学生生活の葉
学部 P.61 ~、大学院 P.63 ~参照

●通信指導(レポート)の提出

WEB：2023年5月9日(火)10:00
~5月30日(火)17:00
郵送：2023年5月16日(火)
~5月30日(火) 必着

未提出
または
不合格



科目を登録した学期の次学期も学籍がある場合に
限り(休学者を除く)もう一度、通信指導・単位認定
試験を受けることができます。

※学籍がない場合は、入学手続きが必要です。
※通信指導に合格している場合は、単位認定試験のみの
受験になります。

提出後、合格
(結果返送時期は6月末~7月上旬頃です)

●単位認定試験(自宅受験)

WEB：2023年7月15日(土)9:00
~7月25日(火)17:00
郵送：2023年7月15日(土)
(一部科目のみ) ~7月25日(火) 必着

不合格



- 通信指導(レポート)は、2月下旬~5月上旬に印刷教材(教科書)と一緒に送付されてきます。(新設科目は別送)
- 郵送のほか、システム WAKABA 内の「WEB 通信指導」から提出(送信)できます(一部科目除く)。
- 通信指導が未提出または不合格の場合は、単位認定試験を受けることができません。



単位取得

事務室からのお知らせ

● 視聴学習・図書室の利用方法

2023年4月から図書室の無人化に伴い、利用方法が変更となります。

利用手順

1

事務室で受付

視聴学習・図書室を利用する際は、学生証を事務室受付カウンターに提出し、入室ICカード及び利用カードをお受け取りください。



2

荷物はロッカーへ

学習上必要なもの以外は、視聴学習・図書室入口左側のコインロッカーに納めてから、入室ICカードで入室してください。コインロッカーを使用の際100円硬貨が必要ですが、使用後に返金されます。貴重品は必ず身につけるなど、個人で管理してください。

3

視聴学習・図書室を利用

室内に配架している図書や資料等は、室内でご利用ください。



4

事務室窓口で学生証の受け取り

利用が終わりましたら、事務室受付カウンターで入室ICカード及び利用カードを返却のうえ、学生証をお受け取りください。

- ・室内には、放送教材、印刷教材、授業に関連した図書・雑誌等があり室内で閲覧可能です。
- ・学生用の専用タブレットがあり、開講中の全科目の放送を視聴できます。
- ・室内には、2016年度から2018年度までに開設された学部科目の放送教材（DVD・CD）は配架しておりますが、**2019年度以降の学部新規開設科目の放送教材（DVD・CD）の配架はなくなりました。**ネットをご利用ください。
- ・放送教材はその内容を変更・複製することは出来ません。
- ・教材・機器・図書等を**滅失・損傷**した場合は**損害を弁償**していただきます。
- ・茨城学習センター所蔵の図書は**室内にてご利用ください。**
- ・感染症対策のため、できるだけご自身でヘッドフォンの持参をお願いいたします。

● 学習センター内 Wi-Fi の利用について

情報セキュリティ研修（システム WAKABA→放送大学自己学習サイト→情報セキュリティ研修）を受講した後、小テストに合格すると発行される「修了証」を印刷のうえ、必要事項を記入した「無線 LAN 利用申請書」を、事務室受付カウンターに提出してください。

● 放送大学附属図書館所蔵図書の貸出について

附属図書館所蔵図書や印刷教材・閉講放送教材等は、蔵書検索システム（OPAC）でお申込みできます。申込方法等詳細は、「学生生活の葉」や「システム WAKABA」でご案内しております。

● 文献複写について

図書資料の複写を希望するときは、「文献複写申込書」に所定の事項を記入し、複写したい図書資料とともに受付窓口にお申込みください。複写料は1枚につき、白黒10円、カラー50円です。

なお、著作権法により次のような制限があります。

- ・図書室所蔵の資料であること
- ・個人の調査・研究を目的とすること
- ・著作物の一部分であること
- ・1人につき一部であること

その他、他の大学図書館所蔵の資料の文献複写を依頼することができます。

詳しくは、「放送大学附属図書館ホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp>)」や「リブナビ」をご覧ください。

ライブラリー 講演会

主催／放送大学茨城学習センター

▶水戸市文京 2-1-1 茨城大学水戸キャンパス内
TEL : 029-228-0683

時間 / 14:00 ~ 16:00

会場 / 茨城県立図書館 視聴覚ホール

茨城県立図書館

▶水戸市三の丸 1-5-38
TEL : 029-221-5569

●放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新的话题を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。

日本図の夜明けー長久保赤水と伊能忠敬ー

放送大学茨城学習センター所長
茨城大学名誉教授

オノデラ アツシ
小野寺 淳

現在の高萩市赤浜に生まれ藩主の侍講となった長久保赤水は、経緯線に日本列島を位置づけた詳細な「改正日本輿地路程全図」を出版しました。その約40年後、香取市佐原の豪商であった伊能忠敬とその弟子たちによって実測が行われ、「大日本沿海輿地全図」が完成しました。18世紀後半から19世紀前半にかけて現れた二人の優れた地図製作者とその日本図を解説します。

令和5年
4/15(土)

作物品種の海外流出と種苗法改正

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学農学部教授

イノウエ エイチ
井上 栄一

野菜や果実など作物品種の育成者の権利は、これまで種苗法によって保護されてきました。しかし、種苗法の際を突いた新品種の海外への流出が後を絶たないことから、効果的な対策が求められています。本講演では作物品種の海外流出の現状とそれを阻止するための種苗法の改正について解説します。

5/27(土)

声楽で知る音楽の基礎ー何となくをはっきりさせるー

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授

タニガワ ヨシユキ
谷川 佳幸

小学校から音楽を学び、ト音記号、四分音符、ハ長調、4分の4拍子、アンダンテ、フーガ…、など知っている音楽用語は沢山あると思いますが、なぜなのか、本当の意味は何かと聞かれて明確に答えることができるでしょうか。声楽、歌を通してそれらの何となく知っていることを理解し、より深い音楽鑑賞や演奏に結び付けていきます。

6/17(土)

文化資源を活かした観光まちづくりー地域の物語を描くー

愛媛大学社会共創学部准教

イグチ アズサ
井口 梓

各地域の歴史に根差した風土・風習などを踏まえた「地域を語るストーリー(物語)」によって、点在する有形・無形の文化資源をつなぎ、面的に情報発信して人材育成や地域振興に生かす「観光まちづくり」が広がっています。新しい観光経験の創造や地域文化の再評価ともなるこれらの取り組み手法について、愛媛県等の実践事例をもとに一緒に探ってみましょう。

8/19(土)

《色》の社会史ー《色》から見るヨーロッパ世界ー

放送大学教授
(人間と文化コース)

カワハラ アツシ
河原 温

近年、人間の五感にかかわる歴史研究(感性の歴史)が盛んになってきました。例えば視覚という観点から《色》が人間社会の中でさまざまな社会的メッセージをもたらすメディア(媒体)として機能してきたことが注目されています。本講演では、前近代のヨーロッパ(フランス)社会を対象として《色》が歴史的に果たしてきた役割と機能を考えてみたいと思います。

9/16(土)

障害者の歴史と共生社会ー障害者権利条約が求めるものー

茨城大学教育学部教授

アラカワ サトシ
荒川 智

障害者の生活と教育の歴史を振り返りながら、共生社会のあり方について考えます。特に20世紀の優生思想・政策とその後のノーマライゼーション、インクルージョンの考え方、そして障害者権利条約のポイントを検討しながら、障害のある人の福祉と教育の在り方について展望できればと思います。

10/21(土)

「人生の不条理」と対話の哲学

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学名誉教授

ワタナベ クニオ
渡邊 邦夫

「どんなにがんばっても人生は意味がなく、不条理だ」という主張が時々提出されます。自分は「意味のある人」ではなく、意味があっても死後やがて消えるといった考えがもとにあります。人間の価値を単純に比較する「考え」自体が間違っていると思われれます。本講演では「かけがえのなさをめぐる自分との対話」という角度からこの問題を考えます。

11/18(土)

知られざる女性たちの交流史ー津田梅子とエレン・H・リチャーズ

法政大学人間環境学部教授

ユザワ ノリコ
湯澤 規子

19世紀の日本とアメリカにおける女性の位置づけを振り返り、最初の扉を開いた女性2人の思想と実践を追いながら、その交流史についてお話しします。日本の女性教育の祖として知られる津田梅子は、若き日にアメリカでどのような経験をし、何を感じたのでしょうか。マサチューセッツ州ボストンの資料などにも触れながら、考えていきましょう。

12/16(土)

弘道館の教育と水戸藩の学問

弘道館事務所主任研究員

コアクツ
小畑 のり子

9代藩主徳川斉昭の創設した水戸藩校弘道館は、儒学をはじめとする各種の学問や多くの流派の武芸を学べる施設を備えた、いわば総合大学的な学問所でした。本講演では、従来ほとんど顧みられなかった医学・天文学・蘭学・音楽といった分野の教育にも光をあて、その総合大学的な学問所としての機能を明らかにし、弘道館教育の全体像を再検討してみたいと思います。

令和6年
2/17(土)

気候変動の最新動向と私たちの生活

茨城大学前学長
地球・地域環境共創機構特命教授

ミムラ ノブオ
三村 信男

気候変動問題はますます重大になっています。昨年は、世界各地で洪水や干ばつ、熱波などの被害が生じました。それに対して、カーボンニュートラルや影響対策の動きが高まっていますが、エネルギーや食料供給の不安定が重なり心配な状況です。本講演では、今世界で何が起きているのか、それが私たちの生活とどのように繋がっているのかについて考えます。

3/16(土)

令和5年度 ゼミのお知らせ

在宅看護について考える

NEW

●原則毎月第3または第4土曜日 9時30分～



まえだ かずこ
前田 和子

概要: 地域包括ケアシステムが推進されている今、従来の病者中心ではなく、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護がますます注目されています。生活者の視点でその人らしい暮らしを生き切るための看護や、それを支える家族支援について考えていきます。

計画: このゼミでは、毎回、1つ程度的话题を提供し、在宅看護や介護における身近な問題、課題について話し合いながら、理解を深めていきたいと思います。

メッセージ: 生活者とその家族が地域で暮らしていくためのニーズが、多岐にわたることを実感できる場になればと思います。

園芸生産の持続的な発展について考えよう

●原則毎月第4土曜日 9時30分～



いのうえ えいいち
井上 栄一

概要: 農業生産のうち果実や野菜などの園芸作物は副食性食品として我々の健康維持に欠かせない品目です。茨城県は全国有数の園芸生産県ですが近年では担い手不足などによる生産者の減少や産地の弱体化に悩まされています。本ゼミでは園芸生産における持続的な発展を妨げる課題について知識を深めるとともにその解決策について議論したいと思います。

計画: まず教員から園芸生産の持続的な発展の障害となっている課題について問題提起しその背景について話題提供します。次にその課題について皆で情報収集して解決策を考えます。情報収集の一環として、特色のある取り組みや試験を行っている産地、経営者および試験研究機関などの見学も積極的に取り入れたいと考えています。

メッセージ: 我々の生活に欠かせない野菜や果物などの園芸作物が安定的に供給されるにはどうしたらよいか考えてみましょう。

ドイツ文学をやさしく読んでみる

●原則毎月第2木曜日 13時30分～



さとう かずお
佐藤 和夫

概要: 前半は文法を中心として初級の練習問題を全員で検討します。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。

計画: テキストは、前半 / Schritte neu Grammatik, (Hueber) CEFR A1-B1 後半 / F. Schiller, "Die Räuber", (ELI) CEFR B1

メッセージ: 「急がず休まず」(ゲーテの言葉) 歩みを進めていきましょう。

実用統計学 (Advanced Statistics)

●原則毎月第1日曜日 9時30分～



しおみ まさえ
塩見 正衛

概要: (1) 統計学の基礎を終えたみなさんと、塩見先生と一緒に、一歩進んだ統計学と手法を学びます。今話題になっている「ベイズ統計学」を本気で身につけていきます。ベイズ統計学は、100年以上研究・利用されてきた現在の統計学とは、その基礎概念が少し異なっていて、若者に人気のある統計学と手法です。計算速度の速くなったPCを誰でも使えるようになった恩恵を試してみませんか！(2) 社会現象や自然現象から研究テーマを見つけ、統計的手法を利用して問題解決に取り組めます。勉強したい方も、研究したい方も大歓迎です。

計画: 毎月1回のゼミで、塩見先生が用意してくださるテキストを元に、専任の講師が講義を行い、また研究の討論・発表を促します。

メッセージ: 新しい統計学を勉強しながら、自分が持つておられるテーマや疑問を、統計的手法を通じて解決してみようと思われの方はどうぞ！みんなで楽しみましょう。

茨城学習センターの歴代所長・客員教授等によるゼミ全14!

茨城学習センター所属学生であれば無料で受講できます。興味のある方、途中から参加してみたい方は事務室(029-228-0683)までご連絡ください。

●月ごとの日程を茨城学習センターのホームページに掲載しておりますので、確認してください。
※日程は変更となる場合があります。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

R.Carson:The Sea Around Us.を読む

●原則月2回 / 第2・第4日曜日 9時30分～



あさの よういち
朝野 洋一

概要: 海洋は地球上の生命の故郷であり、その豊かな資源は今日まで人類を始め多くの生物の命を支えてきた。しかし、近年はプラスチック廃棄物による汚染が大きな問題となっており、マイクロプラスチックの海洋生物への影響は深刻である。さらに水産資源量の減少、温暖化に伴う海面上昇や海流の変動、原子力発電所からの放射性廃棄物放出など問題が多い。広大な面積と膨大な水量を有し、総てを飲み込んでくれるように思える海洋だが、限界が見えてきた。持続可能な開発目標の一つである海洋についての理解を深めたい。

計画: テキストは2018年刊行のOxford UP版を使用。1951年の初版に著者注を加えた1961年版を基にしているため、その後著しく発展した生物・地球・海洋諸科学の知見を参照しながら読む必要がある。日本語訳(「われらをめぐる海」早川ノンフィクション文庫)もあるが、原文を丁寧に読むことを心掛ける。

城下町水戸の近現代における変化

●原則毎月最終水曜日 15時00分～



おの じゅん
小野 寺 淳

概要: これまで城下町であった水戸市中心市街地の武家屋敷、老舗を探して訪ね、聞き取りを行ってきました。まだ、十分ではないので、これからも続けますが、大正期などの明細地図などをもとに近現代における変化を調べます。

計画: ①武家屋敷の名残がみられる屋敷地分布の作成 ②江戸時代創業の商家、職人の分布図と老舗の変化 ③これらの変化はいつ起こったのかを、聞き取りの中から考察していきます。

メッセージ: 個人的な興味から始め、参加している内に自然に調査の仕方を身に付け、最後は調査結果を理論的に整理して、互いに語り合う学問を体験してみよう。

初歩の統計学 (Basic Statistics)

●原則毎月第3日曜日 9時30分



しおみ まさえ
塩見 正衛

概要: 塩見先生と一緒に、統計学の基礎を学びます。統計学も計算用プログラムも一から勉強する絶好のチャンスです。ゼミでは、平均やバラツキの表し方、身長と体重のような連続数、人数や個数など不連続数の扱い方などから勉強を始めます。身長や体重のように関連する2つ以上の形質の相互関係を把握できる手法の勉強などの方法とそのプログラム利用へ進みます。

計画: (1) 山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎著「Rによるやさしい統計学」(オーム社)をテキストに勉強を始めます(テキストは各自準備ください)。(2) 毎月1回のゼミで、上記テキストに沿って、専任の講師が講義を行い、みんなで演習を行います。次回の学習内容、日時、場所は事前にE-mailで連絡します。

メッセージ: (1) 普段に、アンケート調査や伝染病の広がりが、新聞で見られる数字をより正確に理解できるように、身の周りのデータを自分でまとめたいと思うようになります。

(2) 統計学の世界を覗き、フリーの統計言語「R」の学習を手段に、統計にはまり込むまで、応用範囲を広げて下さい。基礎も演習も、先を急がず、じっくり学習します。過去に学んだ経験のある人もどうぞ。

やさしい英会話教室

●原則毎月第2または第3土曜日 9時30分～



しろしほ まさたけ
白石 昌武

概要: 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。

例えば: When did you get up this morning? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です) のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

計画: しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

メッセージ: 参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。

西洋音楽の伝統的な発声法を研究、身に付け、楽曲に適した歌唱を行う

●原則毎月第2火曜日 13時30分～



たにかわ よしき
谷川 佳幸

概要: 発声法というものがある必要なのかを理解し、様々な発声法について考えます。発声練習を継続して行うことで技術を身に付け、楽曲に適した演奏ができるよう試行していく。まずはイタリア語の曲から始め、日本語の歌を的確に表現できるようになることを目指します。

計画: 毎回まず発声練習から始めます。ただ音型を繰り返すのではなく、それぞれ何を目的とした練習なのかを理解して取り組む。その後、練習曲、イタリア歌曲、その他の外国語歌曲やオペラアリアなどを扱っていきます。なぜ外国語の歌から始めるのかを歌うことで理解し、日本語の歌に移ります。

メッセージ: いい声を生まれつき持っているのは恵まれたことですが、それだけでよい歌が歌えるわけではないし、良い声を作るための技術が発声法です。主に歌声について学んでいきますが、もちろん普段の話声にも役立ちます。楽しく腹の底から声を出しましょう。

情報通信・ネットワークの基本を知ろう

●原則毎月第2または第3土曜日 9時30分～



ほしち ひろあき
羽瀬 裕真

概要: 最近では、データ駆動、DX、DS、Web3.0、AI、IoTなどの言葉が未来社会を見据える上で重要になっています。これらの言葉の理解を深めるとともに、これらはデジタル情報がキーになっていますので、情報・データの理解を深めます。このゼミでは、簡単なプログラムを作成したり、話し合いながら理解を深めていきたいと思います。

計画: PythonやExcelの使い方から始め、提示されたプログラムの動作を確認しながらプログラムへの理解を深めます。例えば、リンカーンの演説文を題材にアルファベットの出現確率を求めたり、それを使って「bit」という言葉を理解したりします。毎回のゼミでは、皆さんとの意見交換やプログラム作成を通してデータ駆動型社会への理解を深めます。

メッセージ: 言葉は時代とともに変わりますので、その言葉により今を知り、未来を創造/想像できるかもしれません。空想の馳せる限りに思いめぐらしてみましょ。PythonやExcelなどでプログラムを作成したり、楽しみながら理解を深めましょ。

幸福について考える

●原則毎月第2日曜日 9時30分～



わたなべ くにお
渡邊 邦夫

概要: 哲学の幸福にかんする考え方を、古代ギリシャなどのいくつかの立場をみながら検討します。参加する方がこれまで考えてきたことを表現したり、より明確にしたりするための助けになるような考え方を紹介します。

計画: 短いテキストを読んで哲学の幸福論にふれて、人生にどう生かせるか考えてみるという授業をします。哲学や文学やそのほかの領域からテキストを選びます。生活実感に近い問題から入りやすから、哲学の学習経験がなくとも大丈夫。

メッセージ: 「幸福の専門家」はいません。自由に話しましょ。

日本の医療史

●原則毎月第1または第2土曜日 10時～



たきざわ りきお
瀧澤 利行

概要: 現代日本の医学は、世界でも最先端の進歩を遂げていますが、ここまでの発展をみるまでには、中国医学、オランダ医学、イギリス医学、ドイツ医学、そしてアメリカの医学など世界のさまざまな医療文化と医学の影響を受けてきました。このゼミでは、そんな日本の医学と医療の変遷をさまざまな角度からみていくことにします。

計画: 大きく分けて、江戸時代までの医学の流れと明治維新以降の医学の流れをみながら、前近代の日本人の身体や医学のとらえ方、オランダ医学の影響、明治維新以降のドイツ医学の影響、感染症と細菌学、結核と日本人、戦争と日本医学、アメリカの医学と戦後日本の医学、麻薬・覚せい剤と日本社会、脳死と臓器移植などを取り上げていきます。

メッセージ: 医療は私たちの身近な問題です。しかし、その医療の考え方や技術の一つひとつには人類の長い歴史が反映されています。医学と医療の歴史を知ることによって、自分たちが受けている医療の意味がより広く、深くできるようになると思います。少し難しい問題を取り扱いますが、興味があれば一緒に考えてみましょう。

近世の史料や古文書を読む

●原則毎月第3木曜日 13時30分～



ちば まゆみ
千葉 真由美

概要: 江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を、史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。

計画: 茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。

メッセージ: くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながら楽しんで学んでいきましょう。

発達障害について考える

●原則毎月第3日曜日 9時30分～



みずぐち すずむ
水口 進

概要: 発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、特異的学習症が含まれます。それがわかるのが多くは幼児期です。最近では大人の発達障害が話題になっています。幼児期、児童期、青年期、それぞれの時期における発達障害のあり方について、調べ、考え、みんなで話し合い、発達障害についての理解を深めましょ。

計画: 発達障害について、みなさんが今もっている知識を知り、みなさんに調べてほしいテーマを与えます。調べたことを報告してもらい、それに対して私が事例をまじえながら解説を加えていきます。皆さんとの討論を大事にします。また自閉症児を兄弟にもつ方のために書かれた本(英文)を講読する時間もちたいと考えています。

メッセージ: 発達障害について簡単に書かれた本(新書版)がたくさんあるので、数冊読んでみるようにしてください。しかしその知識を深めるには論文を読む必要があります。論文の探し方についてもこのゼミで学んでいきましょう。

お申込みは
事務室まで
ご連絡ください



※年度ごとにお申込みが必要です

茨城学習センター 令和5年度 サークル紹介

パソコンクラブ



パソコン・スマホを通じて親睦と情報技術を楽しむことを主目的としています。

▼午後の勉強会
(茨城学習センター3階実習室)

Zoom 初心の方には個別相談に応じます。皆さまのご参加をお待ちしています。

年度計画で決めたテーマでの勉強会を開催。相談コーナー開設(適宜)

【最近1、2年の活動内容】

対面で活動できない時期にはZoomを使ってのオンライン勉強会を実施。放送大学バーチャルキャンパスへの誘い/パソコンを分解して中を見ようセキュリティ/Zoomの使い方/ネットでの読書/クラウド・AI・VRメルカリ/電子マネー/放送大学でのパソコンライフ/サブスクWeb試験対策とは/Excelで統計/データサイエンスExcelのマクロ機能/Wordのウラ技/メタバースって 等。

●活動日：月1回(主に日曜日)
7月、1月休み
会員数：30名
会費：年会費1,000円
代表者：網谷

ふるさと探勝会



豊かな自然と気候風土に恵まれたふるさと茨城やその近隣各県の町や村には貴重な文化財・史跡が数多くあります。永い時を刻んだ歴史遺跡や美しい自然を訪ねるたびに驚きや新しい発見があります。

▼水戸八景めぐり(第77回例会)

平成11年発足した会も今年79回を数えました。毎回40名程が参加され、大型バスや列車を利用しています。学ぶ仲間と楽しく語らいつつ、魅力ある茨城と近隣の歴史・自然を探勝してみませんか。ご参加をお待ちしております。

○令和5年度活動(実施月未定)：真岡鉄道SLの旅、沼田高崎の旅、常総・坂東の旅

●活動日：年3~4回、
主に日曜日、日帰り
会員数：43名
会費：1,500円
代表者：吉村

英会話クラブ



英語は毎日の生活に欠かせません。楽しみながら、英語感覚を絶やさないように心がけています。また、会員相互の親睦も大切にしています。

茨城大学の山上敦子准教授が指導されます。日本語も混じえながら、趣味や経験をグループで話し、またスクラブル等のゲームで遊び、時事の話題も取り上げます。大切な英語表現や発音はきちんと抑えます。コロナ以降海外ツアーや他センターとの交流が難しくなったので、それに代わる近場での青空クラスなども始めました。コロナの状況によりZoomによるオンライン方式のこともありますが、状況が改善すれば再び、オープンキャンパスでのクラス開放、年2回の楽しい「Drink & Dinner Party」などもやります。

英語の実力は問いません。
学習センター事務室で随時受け付けています。

●活動日：毎月第1日曜日
13:30~15:30
会員数：21名
会費：3,000円(半年1,500円)
代表者：田辺

ゴルフサークル



茨城学習センターの『ゴルフ・サークル』は、10年余りの歴史を有し、スポーツ系のサークルとしては唯一の存在です。ゴルフ・コンペを、毎月の第2水曜日に水戸近辺の様々なゴルフ場にて、4~5組で開催しています。

▲2022.6.8第119回大会(於:サニーフィールドゴルフクラブ)

ベテランも初心者も一緒に、サークル内で決めたハンディ・キャップに基づき、楽しみながら順位を競っています。水戸周辺では、プレー費用も平日で安く、更に学生優遇で『ゴルフ場利用税』が非課税になります。また、他県のゴルフサークルとの交流大会も行っています。ゴルフを楽しみながら、心身共に健康維持に努め、学生相互のコミュニケーションを持つ絶好の機会です。初心者からベテランの方々、興味のある方は是非ご参加下さい。学習センター事務室で受け付けています。

●活動日：毎月第2水曜日に
月例コンペ開催
会員数：18名
会費：年会費500円
コンペ参加費500円
代表者：原

未来環境クラブ

4 質の高い教育を
みんなに



最近、持続可能な開発目標(SDGs)というコトバをよく耳にしませんか?

未来環境クラブでは、SDGsをキーワードに私達の生活、地球、宇宙に至るあらゆる環境(自然環境、社会環境、etc...)について、メンバーの興味に沿って、あらゆる切り口で学び、発表する機会を提供します。原則、オンラインで活動しています。

●活動日：毎月1回
会員数：12名
会費：令和5年度はなし
代表者：玉置



生物・微生物サークル



微生物の世界

私たちの身近にある微生物はとても小さいのですが、その働きは想像を超える力を発揮しています。共に考え微生物のワールドを探究いたしましょう。

●活動日：原則毎月1回
13:30~15:30
会員数：12名
会費：無料
代表者：岡島

数学共楽会

(The Society of Enjoyable Mathematics)



▲「R 統計学」ご指導の塩見先生（前列右2人目）とメンバー

2004年スタートの塩見先生ご指導の統計学のメンバーが中心となり、数学の初歩を共に楽しく学ぶための「数学共楽会」が2008年10月に発足し、4つのグループで活動しています。特に2016年度は発足理念に基づき『初歩からの数学』。さらには、2018年は「初歩の統計」も新たに再開し、2020年度よりRプログラム学習が再スタートしています。

- 『初歩からの数学』高校数学から大学数学へ橋渡し!! ゆっくり勉強! (講師: 山下/幹事: 小川)
- 「初歩の統計」ゼミ (御指導 塩見先生/講師: 竹内/幹事: 竹内) *2023年新スタート
- 「実用統計学ゼミ」(御指導 塩見先生/幹事: 山口) ベース統計で教材[心理統計法]を学習。尚、本ゼミは中級者向けゼミです。
- 「解析入門」微分方程式の解法で教材: Advanced Engineering Mathematics 旧奥ゼミを継承 (幹事: 石田(紀))

●活動日: 月1回 (HPで紹介します) 会員数: 24名
<https://sites.google.com/a/yokappe.net/mathematics310> 会費: 無料
 ◆体験入会歓迎: 申込は事務局へ 代表者: 山下

物理と天文サークル

物理

●「量子力学」輪講風景
 教材: 朝永振一郎著「量子力学」



●宇宙天気予報の勉強会
 教材: 片岡著「宇宙災害」



太陽フレア (地球に危険)

天体観測

●天体観望会
 ●星空情報発信



物理に興味のある人達、また天体観測に興味のある人達のサークルです。

2018年度からサークルとして活動を始めておりますが、2023年度は元茨城学習センター長の横沢先生のご指導のもと「量子力学」(朝永振一郎著)の輪講と宇宙天気予報の勉強会、さらに天体観望会に加え星空情報の発信を前年度に引き続き継続する予定です。

当サークルでは、いろいろな専門分野の人が入会しさらに活性化されることを望んでいます。放送大学生の方又は学友同窓会の方なら、どなたでも入会を大歓迎します。

●活動日: 原則毎月第3土曜日 会員数: 14名
 9:30~11:30 会費: 無料
 代表者: 石田(紀)

食と農と環境を考える会



中島紀一客員教授の「中島ゼミ」が2017年3月で終了するのを惜しみ、学生サークルとして2017年度から活動を継続することになりました。

◀有機農法塾の見学

「食・農・環境」この3つは密接に関連していて、日本だけでなく人類の今後の大きな課題です。というとなかなか難しいのですが、顧問の中島紀一先生の広い学識と温かい人柄を受けて、さまざまな分野に興味と関心をもって考えていきます。

会員の日頃の活動内容の発表や中島先生の講義のほか、年に数回は有機農法の見学など現地研修にも出かけます。

●活動日: 月に1回、 会員数: 10名
 主に火曜日 10:00~ 会費: 1,000円
 代表者: 杉本

合唱クラブ (Chorus iOU)



令和の始まりと同時に誕生した新しいサークルです。茨城大学教育学部音楽科の谷川佳幸先生(演奏学)が本学習センターの客員教授に就任されたのをきっかけに結成されました。

活動日は先生のゼミの終了後に設定されています。ゼミでは発声の基礎が徹底して鍛えられますので、合わせて参加されることをお勧めします。

愛称はChorus iOUです。iはもちろん「茨城」から、OUは「Open University」から取りました。まだ少人数ですので、谷川ゼミともどもぜひご参加ください。ともに練習を重ねてよいハーモニーを築いていきましょう。

●活動日: 原則毎月1回(谷川ゼミ終了後) 会員数: 11名
 15:40~16:40 会費: 年間500円
 (当番、谷川ゼミと合同で練習します) 代表者: 佐藤(和)

香り文化サークル



▲2023年1月 県立歴史館茶室双宜庵

当サークルでは、日本の香り文化を中心としながらも、多岐に亘って広く香り文化を探求しています。

今年度もコロナ禍の為満足な活動ができませんでした。活動の一端をご紹介します。

○王朝文化伝統の薫物(たきもの)について研究して再現を試みました。又、自分好みの香り袋を作成しました。

○初代水戸藩主頼房公、藩祖を流祖とする水戸藩独自の香道がありました。昨年9月において屋外活動を行いました。場所は、香道に深い造詣があった9代藩主斉昭(烈公)が、開設した弘道館を見学しました。

○令和5年新年には県立歴史館内の本格茶室双宜庵の茶室にて茶道に親しみました。

皆さまのご参加をお待ちしています。

●活動日: 基本毎月第1土曜日 会員数: 10名
 会費: 3,000円
 代表者: 黒澤

茨城学習センターでは、現在11サークルが活動しています。興味のある方、入会希望の方は、**学習センター窓口までご連絡ください。**追って、各サークル代表者より、詳細について連絡します。

放送大学茨城学習センター
 TEL: 029-228-0683



4月

- 1日(土) 第1学期放送授業開始
集中科目履修生募集要項配布開始(司書教諭)
- 2日(日) 入学者の集い
- 5日(水) 第1学期オンライン授業開始
- 15日(土) 第1学期面接授業開始(～7/30)
第1学期面接授業(追加登録)空席発表
- 20日(木) 第1学期面接授業追加登録受付開始(～7/16)
- 29日(土) 閉所日(～5/5)

今後のスケジュール

5月

- 1日(月) 第1学期ライブWeb授業開始
集中科目履修生受付・在学生科目登録開始(司書教諭:～5/31)
- 9日(火) 第1学期通信指導提出開始【Web】(学部・大学院:～5/30)
- 16日(火) 第1学期通信指導提出開始【郵送】(学部・大学院:～5/30)

6月

- 10日(土) 第2学期募集要項配布開始
第2学期出願受付開始(第1回:～8/31)
- 11日(日) 卒業研究ガイダンス【Web】

7月

- 15日(土) 第1学期単位認定試験【Web】(学部・大学院:～7/25)

8月

- 11日(金) 閉所日(～8/16)
- 15日(火) 第2学期科目登録申請開始【郵送】～8/30【Web】～8/31
大学院(修士全科・博士後期)入試出願受付開始～8/25
- 16日(水) 通信指導提出期限(司書教諭)
- 26日(土) 臨時閉所日

9月

- 1日(金) 第2学期入学出願受付開始(第2回:～9/12)
- 2日(土) 第12回教員・学生講演会
- 19日(火) 臨時閉所日
- 30日(土) 大学院(修士全科・博士後期)入試(1次試験、筆記)

茨城学習センター職員異動のお知らせ

令和5年4月より
よろしくお願いいたします

令和5年4月に大森事務長の後任として就任しました鮎沢です。

3月までは、茨城大学の事務職員として、事務局及び各学部の主に財務系の業務を担当してまいりました。放送大学は、幅広い年齢層の学習意欲を持った学生さんが学んでおられますので、早く放送大学の業務に慣れて、学生の皆様に快く学んでいただける環境づくりを心掛けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務長 鮎沢 博道

平成30年4月から勤めさせていただき3月末をもって退職いたしました。5年の間無事勤めることができたのも多くの皆様に支えられたおかげと感謝しております。

この3年間は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、学習センターの閉鎖や諸行事の中止などで皆様にお会いできる機会が少なくなってしまったことが残念でした。その一方Webの活用が進んだことで新たな道が開けたのではないかと感じております。

茨城学習センターのご発展と共に皆様方の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

事務長 大森宏之

平成30年4月から、5年間、色々お世話になり、ありがとうございました。

放送大学での仕事は、初めての経験ばかりで、戸惑いの日々でしたが、職員の皆様の、温かいご指導のおかげで、日々、過ごすことが出来ました。今後は、放送大学の学生さんに負けぬよう、茨城学習センターで学び得た事を忘れずに、目標をもって、生活していこうと思っています。茨城学習センターの発展と、皆様の健康を心よりお祈りしております。

ありがとうございました。

視聴学習・図書室 畑 昭美

お世話になりました
令和5年3月31日に
退職しました

茨城学習センター
開所時間

事務室窓口 9:00～12:00 / 13:00～17:30
視聴学習・図書室 9:30～12:00 / 13:00～17:00

お知らせ・変更については、茨城学習センターのホームページをご確認ください
▶ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

月曜日
祝日休み